

Business

cross

旬のひと

原点回帰

「兄の後を継いで社長就任したのは58歳の時。今年で9年目です」と話す栗本保男社長。介護用、業務用の食品販売会社として創業68周年を迎える(株)栗本五十市商店の3代目社長として全国を奔走する。

初代社長である父親の命を受けて里帰りし、入社したのが21歳。当時は近隣にある大手企業の工場への給食供給が主だった。自分は何をすればいいのか？

父にたずねたところ「商売は自分で考えて稼げ」と言われて大慌て。ちょうど高度経済成長期で外食と学校給食が流行っただけに新規参入は難しい時。考え抜いた末、病院と施設に着目。それからは午前中に工場給食を納品し、その後はフェリーで山口県の周防大島を往復し、光、下松、防府から下関までも足を延ばして病院、施設を周り、販路を拡大していった。ある時、出会ったある医師からの言葉が転機となる。

「今からは糖尿病が増えてくるから勉強しなさい」と言われ、低カロリー商品の納品を依頼されました。さらには大豆アレルギーの権威として知られる先生から、油を使わないドレッシングを作るように言われ、食品メーカーと一緒に作ったんです。今でこそヒット商品として知られるノンオイルドレッシング。その草分けだ。「契約書でもかわしておけばよかったのに、とよく言われるのですが、そうしていれば働かずして収入を得て、今頃は体を壊していたかも」と微笑む。結局それらの依頼が現在メインとなる治療用食品、栄養機能性食品、介護食などを供給するきっかけとなった。「父が」とにかく歩け!そこにヒントがある、と口を酸っぱくして言っていた意味がよくわかりました。ヒントは現場にある。若い人たちにもその事を伝えていきたい」と話す。

現在は病院・施設中心に治療用食品を供給する他、在宅者の病態などに合わせて食品を届ける宅配事業も展開。同社の商品開発・製造部門を担う(株)カネゴーフーズの塩分やたんぱく質を調整した商品も販売する。「これからの高齢化社会、生活習慣病の増加に備えて、管理栄養士の指導を受けながら気軽に治療食を購入できる『いそいちショップ』を広島市の中心部に昨年10月オープンさせました」と語る栗本社長。今年5月開催の「第3回臨床高血圧フォーラム特別企画 減塩サミット in 広島」では同社食品の展示および試食会を実施し、健康のための食の大切さを呼びかける。



【プロフィール】 栗本 保男 Yasuo Kurimoto

株式会社栗本五十市商店 代表取締役。1946年11月8日生まれ、67歳。58歳で兄の跡を継ぎ社長就任。

厚生労働省・農林水産省認可 全国病院用食材卸売業協同組合理事長。広島県出身。広島県大竹市玖波在住。休みの日は2時間ほどウォーキング。時々ゴルフを楽しむ。「原点回帰」は今年度の会社のスローガン。父から教えられた「歩け、そこにヒントがある」という言葉を思い出して何事も基本にかえろう、もう一度初心に戻ろうという思いから。

株式会社 栗本五十市商店

<http://www.isoiti.co.jp/> 〒739-0622 広島県大竹市晴海2丁目10-45
TEL 0827-57-7233(代表)

代表者/代表取締役 栗本保男 創業/昭和21年 設立/昭和53年12月8日
資本金/1,500万円 従業員/90名(株)カネゴーフーズ含む

事業内容/治療用・業務用食品販売

<山口営業所>

山口県山口市佐山747-12

TEL 083-988-2680

<大分営業所>

大分県大分市萩原2-6-5

TEL 097-529-7780

<いそいちショップ 十日市店>

広島県広島市中区十日市町1-3-30

TEL 082-295-5010

